進路通信　第３号

岩手県立宮古恵風支援学校
進　路　部
発行　令和８年 10 月 27 日
（年間５回発行）

●高等部　技能認定会●

７月９日（木）に久慈市民体育館にて、久慈拓陽支援学校と共同開催で技能認定会が行われました。日ごろから学んでいる「働く力」を発揮して認定種目に挑んだ生徒、仲間と協力し会の運営を支えた生徒、来場する方々に丁寧な接客と笑顔で製品販売をした生徒と、この１年間で培った「働く力」を発揮することができました。宮古市と久慈市での隔年開催のため、来年度は宮古で実施する予定です。



●中学部　進路見学会●

９月 30 日（水）に中学部でジョブ・パートナー山田と、菓子工房じょぶを見学しました。
作業体験では、山田せんべい作りや、製品ラベルの貼り付け作業を行いました。作業体験を通して、身だしなみや集中力の重要性を学びました。

また、卒業した先輩や利用者の方へのインタビューでは、仕事で楽しいことや大変なことを教えてもらいました。

卒業後の働く姿を意識し、後期実習の意欲につなげることができました。



●事業所説明会・職員進路研修会●

８月４日（火）に就労継続支援Ａ型事業所・Ｂ型事業所、生活介護事業所、就労移行支援事業所を本校にお招きし、事業所説明会を行いました。昨年度までは職員が宮古圏域内の各事業所・企業で施設見学や体験活動等を行っていましたが、今年度は本校に事業所の方をお迎えし、販売会を兼ねて開催しました。現場の生の声を聞かせていただき、進路についての知見を深めるよい機会になりました。

また会の前段部では年金制度説明会も開かれました。障害基礎年金に関わる仕組みや請求するためのポイント、必要な準備など障害年金に対する知識向上にもつながりました。








参加した職員から

一般企業や就労移行支援事業所、就労継続支援Ａ型・Ｂ型事業所の説明を聞きました。それぞれの事業所の方に、丁寧に説明していただきました。また、最後に質疑応答の場を設けていただき、それぞれの事業所のよさや強みを知ることができました。子供たちの将来を見据えることができた、とてもよい職員進路研修会でした。



◎就労移行支援事業所における就労定着支援事業について

就労定着支援とは、一般就労をしている障がいのある方が長く職場で働くことができるよう、福祉サービスを提供する事業所が行う様々なサポートのことです。宮古圏域においては、「ワークプラザみやこ」がこのサービスを提供しています。

就労定着支援の対象者は、就労移行支援、就労継続支援Ａ型、就労継続支援Ｂ型、生活介護、自立訓練サービスを経て、一般就労をした方になります。

サポート内容は、以下のようになっています。

① 就労に伴い生じる生活面の課題（生活リズム、体調の管理、給料の浪費等）の把握
② 企業や関係機関等との連絡調整
③ 課題解決に向けた指導・助言等の支援の実施



◎岩手県内の障がい者就労支援事業所における工賃（賃金）について

【令和６年度実績（岩手県 HP より引用）】

就労継続支援Ａ型事業所…月あたり平均 94,594 円　（宮古圏域→月あたり平均 95,550 円）

就労継続支援Ｂ型事業所…月あたり平均 26,017 円　（宮古圏域→月あたり平均 29,872 円）

◎年金、手当等（詳細は「進路の手引き」 P27 をご覧ください。）

障害基礎年金や特別児童扶養手当等、年金、給付金の種類は多岐に渡ります。それぞれ支給額は変動しますので、詳しくは各市町村福祉課にお問い合わせください。